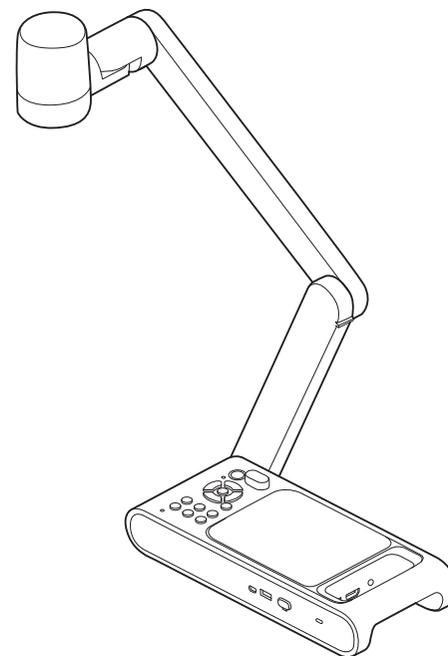


**EPSON**

**ELPDC30**

**書画カメラ  
取扱説明書**



# マニュアル中の表示の意味

## • 安全に関する表示

取扱説明書および製品には、製品を安全にお使いいただき、お客様や他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するために、絵表示が使われています。

その表示と意味は次のとおりです。内容をよくご理解いただいた上で本文をお読みください。

 <b>警告</b>	この表示を無視して誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。
 <b>注意</b>	この表示を無視して誤った取り扱いをすると、人が傷害を負う可能性が想定される内容および物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。

## • 一般情報に関する表示

 <b>注意</b>	本機の故障や損傷の原因になるおそれがある内容を記載しています。
	関連する情報や知っておくと便利な情報を記載しています。
	関連事項や、より詳しい説明を記載しているページを示しています。
<b>【表記名】</b>	リモコンまたは操作パネルのボタン名称を示しています。 例：【AF】ボタン、【決定】ボタン
[メニュー名]	オンスクリーンメニューの項目を示しています。 例： [映像設定]から[明るさ]を選びます。 [映像設定]-[明るさ]

# 安全にお使いいただくために

本機を安全に正しくお使いいただくために、『取扱説明書』をよくお読みください。不明な点はいつでも解決できるように、その後はすぐに見られる場所に大切に保管してください。

## 使用環境に関する注意

### 警告

本機または電池の入ったリモコンを、窓を閉め切った自動車の中や、直射日光が当たる場所、エアコン・ヒーターの吹き出し口、プロジェクターの排気口など、異常に温度が高くなる場所に放置しないでください。熱による変形や、内部の部品に悪影響を与え、火災の原因となることがあります。

屋外や風呂・シャワー室など、水や雨のかかるおそれのある場所、湿度の高い場所で使用・設置しないでください。火災・感電の原因となります。

油煙やたばこなどの煙が当たる場所、湿気やホコリの多い場所、調理台や加湿器のそばなどの油煙・湯気が当たるような場所に置かないでください。火災・感電の原因となることがあります。

ホコリや塵の多い場所で使用・保管はしないでください。映像の品質が劣化したり、故障や火災につながる可能性があります。

### 注意

高圧電線や磁気が発生するものの近くには設置しないでください。誤作動の原因となることがあります。

適切な環境条件で使用してください。  「本体仕様」 p.54

小さなお子様の手が届く場所に本機を設置・保管しないでください。本機を落としたり転倒させたりして、けがの原因となることがあります。

振動や衝撃が伝わる場所には設置しないでください。

温度が高すぎる場所や、低すぎる場所では使用・保管しないでください。また、急激な温度変化も避けてください。

正しく動作しない場合があります。

保管の際にはリモコンから電池を取り出しておいてください。

長期間電池をいれたままにしておくと、液漏れなどを起こす原因になります。

## 電気に関する注意

### 警告

サービスマン以外の方は、『取扱説明書』で指示している場合を除き、本機のケースを開けないでください。また、本機の分解・改造は、絶対にしないでください。内部には電圧の高い部分が多くあり、火災・感電・事故の原因となります。

次のような異常のときは、すぐに電源を切り、ACアダプター、電源プラグをコンセントから抜いて、お買い上げの販売店、またはエプソンサービスコールセンターにご相談ください。

- 煙が出ている、変な臭い、変な音がする。
- 本機の内部に水や異物が入った。
- 本機を落としたり、ケースを破損した。

使用を続けると、火災・感電の原因だけでなく、視力障害の原因にもなります。

お客様による修理は危険ですから絶対にしないでください。

異常が生じたとき、すぐにコンセントから電源プラグを抜けるように、容易に手が届くコンセントに接続してください。

『取扱説明書』に記載されている電源電圧以外は使用しないでください。指定外の電源電圧を使うと、火災・感電の原因となります。

同梱の専用ACアダプター以外は使用しないでください。機器の損傷、火災・感電の原因となります。

ACアダプターは、本書に記載の電源電圧以外の電圧では使用しないでください。火災・感電の原因となります。

ACアダプターのコードを引っ張ったり、コードの上に重いものを乗せないでください。火災・感電の原因となります。

ACアダプターを踏んだり、落としたり、叩いたりなど、強い力や衝撃を与えないでください。破損することがあり火災・感電の原因となります。破損した場合には、電源を切りACアダプターをコンセントから抜き、販売店へご連絡ください。そのまま使用すると、火災・感電の原因となります。

ACアダプターにお茶、コーヒー、ジュースなどの飲み物をこぼしたり、殺虫剤を吹きかけたりしないでください。故障や火災・感電の原因となります。水などをこぼした場合には、電源を切りACアダプターをコンセントから抜き、販売店へご連絡ください。そのまま使用すると火災・感電の原因となります。

ACアダプターを狭い場所に設置したり、布などをかぶせないでください。ACアダプターが高温になり、やけどや思わぬ事故につながる恐れがありますので、絶対におやめください。

ACアダプターに電源コードを巻きつけて使用すると断線や異常発熱を起こす原因となります。このような状態での使用はお避けください。

ACアダプター、電源コードや本機が破損したときは、電源を切り、ケーブルを抜いて、お買い上げの販売店、またはエプソンサービスコールセンターにご相談ください。

ぬれた手で本機やACアダプター、プラグを操作しないでください。感電の原因となります。

## 警告

電源コードの仕様を確認してください。適切な電源コードを使用しないと、火災・感電の原因となります。

破損した電源コードは使用しないでください。火災・感電の原因となります。取り扱いの際は、次の点を守ってください。

- 電源コードを加工しない。
- 電源コードの上に重いものを載せない。
- 無理に曲げたり、ねじったり、引っ張ったりしない。
- 電熱器の近くに配線しない。
- 電源コードを束ねたりしない。

電源コードが破損したら(芯線の露出、断線など)、販売店または他マニュアルに記載のプロジェクターインフォメーションセンターにご相談ください。

電源プラグの取り扱いには、次の点を注意してください。取り扱いを誤ると、火災・感電の原因となります。

- 電源プラグを加工しない。
- たこ足配線はしない。
- 電源プラグはホコリなどの異物が付着したまま差し込まない。
- 電源プラグは根元まで確実に差し込む。
- 濡れた手で電源プラグの抜き差しをしない。
- 電源プラグを抜くときは、電源コードを引っ張らない。必ず、プラグ本体を持って抜く。
- 指定された電源(ACアダプター)以外は使用しない。

雷が鳴り出したら電源プラグに触らないでください。感電の原因となります。

電源プラグにアース線が付いている場合、または電源プラグが3芯の場合は、必ず接地接続を行ってください。接地接続を行わないと、火災・感電の原因となります。

必ず付属の電源コードを使い、コンセント側でアースを取ってください。

電源プラグにアース線が付いている場合は、接地接続は必ず、電源プラグを電源につなぐ前に行ってください。また、接地接続を外す場合は、必ず電源プラグを電源から切り離してから行ってください。

電源プラグが3芯の場合は、必ず3芯アース付きのコンセントに接続してください。

## 注意

本機を使い終わったら、安全のため、必ず電源プラグを抜いてください。絶縁劣化等により火災の原因となることがあります。

本機を移動する際は、必ず電源を切り、すべての配線ははずしたことを確認してください。火災・感電の原因となります。

## 設置に関する注意

### 注意

ぐらついたり傾いた台の上など、不安定な場所に本機を置かないでください。落ちたり、倒れたりして、けがの原因となることがあります。テーブルや台を使用するときは、安定していることを確認してください。

裏面の固定ネジを使用するときは、2本のネジが確実に固定されていることを確認してください。また、接着剤は使用しないでください。

次のような場所には設置しないでください。

- 押し入れ・本箱の中など、風通しの悪い狭いところ。
- じゅうたん・布団・毛布などの柔らかい面の上。
- 毛布・カーテン・テーブルクロスのような布をかけない。
- AVラックやキャビネット内など換気の悪い場所。
- 暖房器具の付近など、高温になる場所。

ケーブル類は足などに引っかからないように配線してください。転倒やけがの原因となることがあります。

本機の上に乗ったり、重いものを置かないでください。転倒、または本機の破損などにより、けがの原因となることがあります。

## お手入れに関する注意

### 警告

本機の上に花瓶・水の入った容器・薬品などを置かないでください。こぼれたり、中に入ったりした場合、火災・感電の原因となります。

本機に飲み物などの液体をこぼしたり、殺虫剤を吹きかけたりしないでください。故障や火災・感電の原因となります。液体をこぼした場合には、電源を切り電源プラグをコンセントから抜き、販売店へご連絡ください。そのまま使用すると、火災・感電の原因となります。

本機の隙間から金属類・燃えやすい物・異物などを差し込んだり、落としたりしないでください。火災・感電の原因となります。

### 注意

お手入れの際は、乾いた布を使用してください。濡れた布やアルコール、ベンジン、シンナーなどの溶剤を使用しないでください。水が中に入ったり、ケースが劣化し割れるなどして感電の原因となります。

お手入れの際には、ACアダプター、電源プラグ、電源コネクタをコンセントから抜き、すべての配線ははずしたことを確認してから行ってください。感電の原因となることがあります。

## 使用上の注意

### 警告

電源投入後は、カメラヘッドやLEDランプ部をのぞきこまないでください。強い光により、目に損傷を与える原因となります。小さなお子様のいるご家庭では特に注意してください。また、ルーペや望遠鏡などの光学機器を用いてレンズをのぞかないでください。

本機から離れた場所からリモコンで電源を入れる場合、カメラヘッドやLEDランプ部をのぞいている人がいないことを確認してください。

小さなお子様には操作させないでください。操作する可能性がある場合は、必ず保護者が同伴してください。

## 電池の取り扱いに関する注意

### 注意

電池の使い方を誤ると、電池の破裂・液もれにより、火災・けが・製品が腐食する原因となることがあります。

次のことを守り、安全にお使いください。

- 種類の違う電池・新しい電池と古い電池を混ぜて使用しない。
- 『取扱説明書』指定の電池以外は使用しない。
- 電池から液がもれた場合は、もれた液を布などで拭き取り、新しい電池と交換する。もれた液が手や目などに付着した場合は、すぐに水で洗い流してください。
- 電池がなくなったら電池を交換してください。
- 長期間使用しないときは、電池を取り出す。
- 電池は加熱したり、火や水の中に投げ込まない。
- 極性(+、-)を正しく入れる。

電池の液が目に入ったときは、目をこすらないでください。すぐに水で目を洗い、医師の治療を受けてください。

電池の液が口に入ったときは、すぐに水で口をすすぎ、医師の治療を受けてください。

電池の液が皮膚や服についたときは、皮膚を守るために水で洗ってください。

小さなお子様の手が届くところに電池を放置しないでください。飲み込んだり、ノドに詰まらせることがあります。万一、飲み込んだ場合は、直ちに医師にご相談ください。

『取扱説明書』指定以外の電池は使用しないでください。

電池の+と-を逆にして使用しないでください。電池を漏液、発熱、破裂させるおそれがあります。

種類の異なる電池、新しい電池と使用した電池、古い電池などを一緒に使用しないでください。電池を漏液、発熱、破裂させるおそれがあります。

長時間リモコンを使用しない場合には、リモコンから電池を取り出してください。使い切った電池はすぐにリモコンから取り出してください。使い切った電池をリモコンにセットしたまま長時間放置すると、電池から発生するガスにより、電池を漏液、発熱、破裂させたり、リモコンを破損させるおそれがあります。

電池は加熱したり、火や水の中に投げ込まないでください。

電池を廃棄するときは、地域の回収ルールに従ってください。

マニュアル中の表示の意味 .....	2
安全にお使いいただくために .....	3
<b>はじめに</b>	
同梱品 .....	12
各部の名称 .....	13
上面/側面/背面 .....	13
操作パネル .....	14
ショートカットキー .....	15
底面 .....	15
リモコンボタン .....	16
リモコン .....	16
LED状態表示 .....	18
<b>接続する</b>	
本機とプロジェクターを接続する .....	20
HDMIケーブルで直接接続する .....	20
本機とプロジェクターをミラキャストで接続する .....	20
コンピューターを使用するとき .....	21
ソフトウェアを使ってプロジェクターと接続する .....	23
Easy Interactive Toolsを使用する .....	23
Epson Connect Tool for Document Cameraを使用する .....	24

## 投写する

設置する .....	26
電源を入れる .....	27
投写する .....	28
投写映像を切り替える .....	29
映像を静止する .....	29
小さい被写体を投写する .....	29
ホワイトボードなどを投写する .....	30
顕微鏡を通して投写する .....	31
電源を切る .....	33

## 映像を保存する・スライドショーを表示する・映像を再生する

画像を保存する .....	35
動画を保存する .....	36
スライドショーを表示する（サムネイル表示） .....	37
保存した画像や動画を再生する .....	38

## 映像の調整と効果

オンスクリーンメニューを使用する .....	40
オンスクリーンメニュー一覧 .....	41
映像設定 .....	41
ミラキャスト .....	42
システム .....	42
再生モード .....	44

## 困ったときは

---

<b>問題と対処方法</b> .....	<b>46</b>
操作に関するトラブル .....	46
映像に関するトラブル .....	46
USBに関するトラブル .....	47
ミラキャストに関するトラブル .....	47
リモコンに関するトラブル .....	47
<b>エプソンプロジェクター連絡先リスト</b> .....	<b>48</b>
EUROPE .....	48
AFRICA .....	51
MIDDLE EAST .....	51
ASIA AND OCEANIA (Country/Region) .....	51

## 付録

---

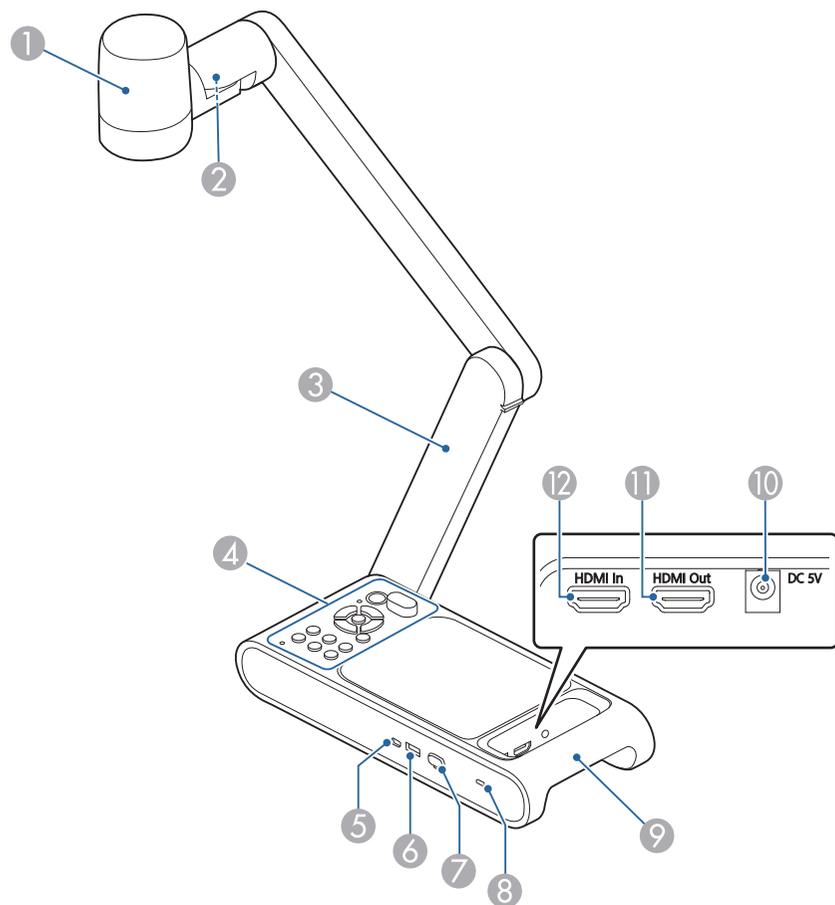
<b>仕様</b> .....	<b>54</b>
本体仕様 .....	54
対応解像度表 .....	56
モード別ズーム倍率と投写距離 .....	57
<b>オプション一覧</b> .....	<b>58</b>
<b>安全規格対応シンボルマークと説明</b> .....	<b>59</b>
<b>著作権と商標について</b> .....	<b>61</b>
商標について .....	61

# はじめに

本製品は、書籍やその他のドキュメント、立体物をキャプチャーしたり、プロジェクターから投写したりできます。また、ソフトウェアEasy Interactive Toolsを使用してコンピューターから書画カメラを操作したり、Epson Connect Tool for Document Cameraを使用して、プロジェクターとミラキャスト接続したりできます。

- リモコン、単4型乾電池2本
- ACアダプター、電源コード
- HDMIケーブル
- USBケーブル
- クイックスタートガイド
- 顕微鏡アダプター

## 上面/側面/背面



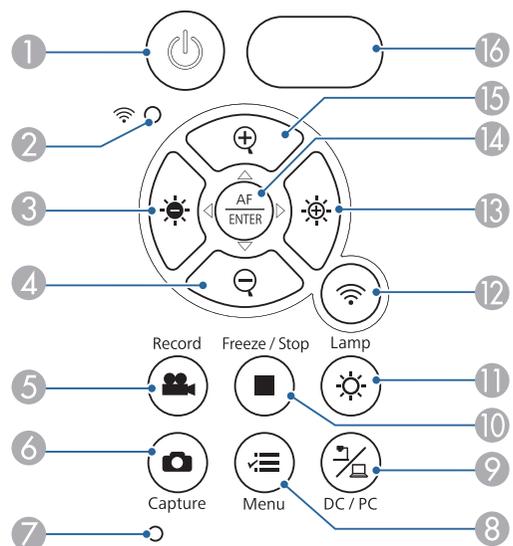
名称	機能
① カメラヘッド	内蔵しているレンズを被写体に向けて接続機器に映像を投写します。
② LEDランプ	被写体の明るさが十分でないときに点灯させます。
③ 支柱	支柱を伸縮させて、カメラヘッドの高さを調整します。

名称	機能
④ 操作パネル	☞「操作パネル」p.14
⑤ USB Mini-B端子	USBケーブルでコンピューターと接続して、コンピューターに書画カメラの映像を表示します。
⑥ USB-A端子	USBメモリーに映像を保存したり、USBメモリー内の映像を表示したりします。
⑦ Wi-Fi Dongler	無線LANユニットが接続されています。
⑧ セキュリティーロック	Kensington社製のマイクロサーバーセキュリティーシステムに対応したセキュリティーロックです。
⑨ ハンドル兼セキュリティーケーブル取り付け部	書画カメラを移動するときに持つ箇所です。市販のセキュリティーケーブルをこの部分に取り付けて、書画カメラを保護することもできます。
⑩ 電源(DC 5V)端子	同梱のACアダプターを接続します。
⑪ HDMI出力端子	HDMIに対応した映像機器に映像と音声を出力します。
⑫ HDMI入力端子	HDMIに対応した映像機器やコンピューターの信号を入力します。

### 注意

レンズの表面は傷つきやすいので、かたいものでこすったり、たたいたりしないでください。レンズの汚れは、市販のメガネ拭きなどで軽くふき取ってください。

## 操作パネル

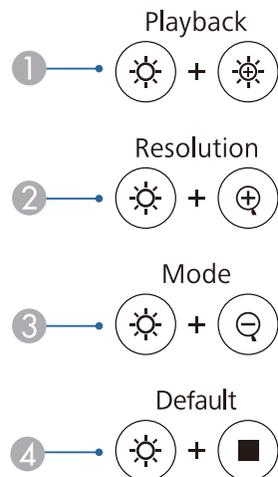


名称	機能
① 【】電源ボタン	書画カメラの電源をオン/オフします。
② Wi-Fiインジケータ	Wi-Fi状態を表示します。 ☛「LED状態表示」p.18
③ 【】ボタン	書画カメラの映像を投写中に押すと、映像を暗くします。 静止画の再生中に押すと、前の画像に戻り、動画の再生中に押すと、巻き戻します。
④ 【】ボタン	投写サイズを変えずに映像を縮小します。
⑤ 【Record】ボタン 【】	動画の録画を開始/停止します。
⑥ 【Capture】ボタン 【】	映像を静止画として保存します。 ファイル一覧画面表示をしているときは、選択した静止画や動画を削除します。
⑦ マイク	動画の録画時に音声を録音します。

名称	機能
⑧ 【Menu】ボタン 【】	メニューを表示/終了します。
⑨ 【DC/PC】ボタン 【】	書画カメラの映像(ライブ映像)と接続しているコンピュータの映像を切り替えます。再生中に押すと、カメラモードに戻ります。
⑩ 【Freeze/Stop】ボタン 【】	ライブ映像を静止します。再度ボタンを押すと投写を再開します。 動画再生中は、動画を停止します。
⑪ 【Lamp】ボタン 【】	カメラ部LEDを点灯したり、消灯したりします。
⑫ 【】ボタン	Wi-FiモードとUSBモードを切り替えます。
⑬ 【】ボタン	書画カメラの映像を投写中に押すと、映像を明るくします。 静止画の再生中に押すと、次の画像に進み、動画の再生中に押すと、早送りします。
⑭ 【AF/ENTER】ボタン 【】	オートフォーカスを実行したり、メニューを表示中に押すと、項目を決定します。
⑮ 【】ボタン	投写サイズを変えずに映像を拡大します。
⑯ リモコン受信部	リモコン信号を受信します。

### ショートカットキー

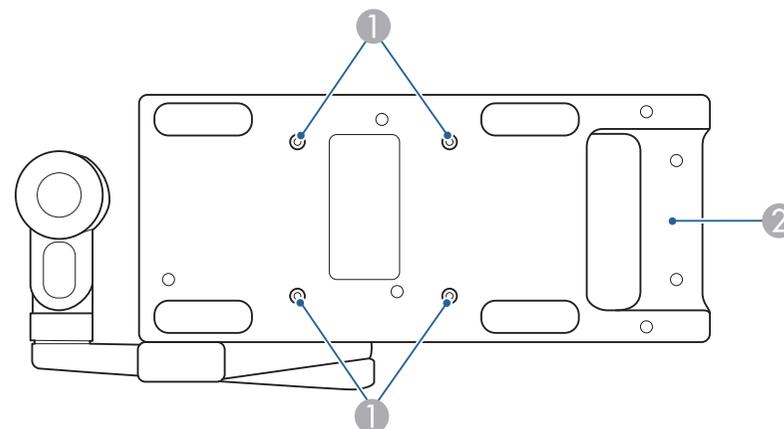
2つのボタンを同時に押して機能を有効にします。



名称	説明
① Playback	動画の再生を開始/停止します。
② Resolution	解像度を切り替えます。 ボタンを押すたびに、下記順番で切り替わります。 [3840x2160 @ 60] [3840x2160 @ 30] [1920x1080] [1280x720] [1024x768]
③ Mode	映像モードを切り替えます。 ボタンを押すたびに下記順番で切り替わります。 [標準] [モーション] [ワイド] [顕微鏡] [マクロ] [無限遠]

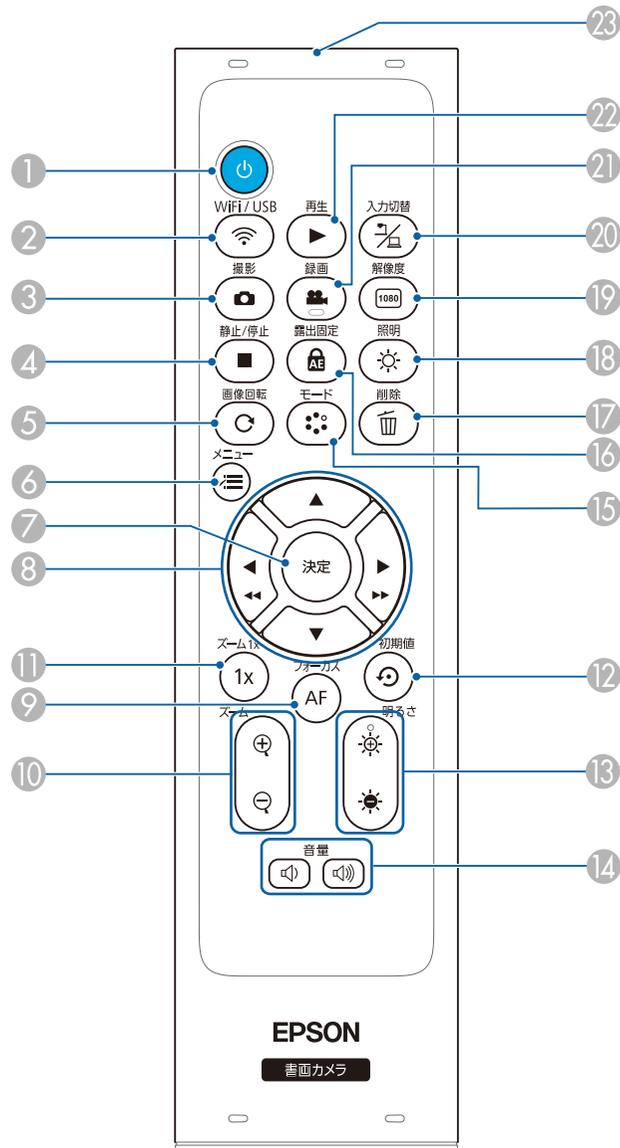
名称	説明
④ Default	工場出荷時の設定状態に戻します。

### 底面



名称	機能
① 固定部	市販のM4ネジで机やカートなどに固定できます。ネジは深さ5mmまでねじ込むことができます。 <b>注意</b> ボルトをしっかりと固定し、締め付けすぎないようにしてください。また、接着剤は使わないでください。
② ハンドル兼セキュリティーケーブル取り付け部	持ち運ぶときに掴んだり、市販のセキュリティーケーブルをこの部分に取り付けて、書画カメラを保護します。

## リモコン



名称	機能
① 【 <b>⏻</b> 】電源ボタン	書画カメラの電源をオン/オフします。
② 【WiFi/USB】ボタン 【 <b>📶</b> 】	Wi-FiモードとUSBモードを切り替えます。
③ 【撮影】ボタン 【 <b>📷</b> 】	映像を静止画として保存します。
④ 【静止/停止】ボタン 【 <b>■</b> 】	ライブ映像を静止します。再度ボタンを押すと投写を再開します。 動画再生中は、動画を停止します。
⑤ 【画像回転】ボタン 【 <b>↻</b> 】	映像の上下を反転します。
⑥ 【メニュー】ボタン 【 <b>☰</b> 】	メニューを表示/終了します。
⑦ 【決定】ボタン	メニューを表示中に押すと、項目を決定します。 静止画の再生中に押すと、静止画を再読み込みします。動画の再生中に押すと、再生を一時停止したり、再開したりします。
⑧ 【 <b>▲</b> 】【 <b>▼</b> 】【 <b>◀/◄◀</b> 】 【 <b>▶/▶▶</b> 】ボタン	メニューを表示中に押すと、メニュー項目や設定値の選択を行います。 静止画の再生中に【 <b>◀/◄◀</b> 】を押すと、前の画像に戻り、【 <b>▶/▶▶</b> 】を押すと、次の画面を表示します。動画の再生中に【 <b>◀/◄◀</b> 】を押すと、巻き戻し、【 <b>▶/▶▶</b> 】を押すと、早送りします。
⑨ 【フォーカス】ボタン 【 <b>AF</b> 】	オートフォーカスを実行します。
⑩ 【ズーム】ボタン 【 <b>⊕</b> 】【 <b>⊖</b> 】	ライブ映像のときと撮影した静止画を投写しているときに投写サイズを変えずに映像を拡大/縮小します。

名称		機能
11	【ズーム1 x】ボタン 【1x】	ズーム倍率をリセットして1倍の状態にします。
12	【初期値】ボタン 【↺】	工場出荷状態に戻します。
13	【明るさ】ボタン 【☀️】【☀️】	投写映像の明るさを調節します。
14	【音量】ボタン 【🔊】【🔊】	音量を調節します。
15	【モード】ボタン 【🔴🟡🟢】	映像モードを切り替えます。 ボタンを押すたびに下記順番で切り替わります。 [標準] [モーション] [ワイド] [顕微鏡] [マクロ] [無限遠]
16	【露出固定】ボタン 【🔒】	露出の自動調整を停止し、露出値を固定します。
17	【削除】ボタン 【🗑️】	プレイバックモード時の映像または静止画を削除します。
18	【照明】ボタン 【💡】	カメラ部LEDを点灯したり、消灯したりします。

名称		機能
19	【解像度】ボタン 【1080】	解像度を切り替えます。 ボタンを押すたびに下記順番で切り替わります。 [3840x2160 @ 60] [3840x2160 @ 30] [1920x1080] [1280x720] [1024x768]
20	【入力切替】ボタン 【🔄】	書画カメラの映像と接続しているコンピューターの映像を切り替えます。 静止画や動画の再生中に押すと、カメラモードに戻ります。
21	【録画】ボタン 【📹】	動画の録画を開始/停止します。
22	【再生】ボタン 【▶️】	動画の再生を開始/停止します。
23	リモコン発光部	リモコン信号を出力します。

名称	LEDと機器の状態
電源 【  】	オレンジ点灯：スタンバイ状態 オレンジ点滅：ウォームアップ中 青点灯：起動完了
WiFi 【   】	青点滅(頻繁)：ミラキャストデバイス検索中 青点滅(ゆっくり)：ミラキャストモード接続完了

# 接続する

以下の操作手順に従って、書画カメラをセットアップします。

本機は、HDMIケーブルを使用して、プロジェクターや外部モニターなどの映像機器と直接接続できます。ミラキャストで接続することもできます。

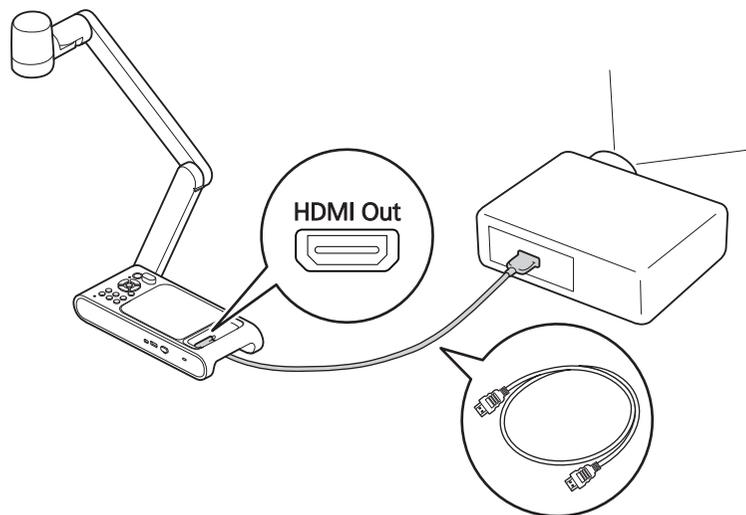


コンピューター経由で本機とプロジェクターを接続することもできます。

☛ 「ソフトウェアを使ってプロジェクターと接続する」 p.23

## HDMIケーブルで直接接続する

本機のHDMI端子とプロジェクターを同梱のHDMIケーブルで接続します。書画カメラの映像(ライブ映像、USBメモリー)がプロジェクターから出力されます。



HDMI CEC規格に対応した映像機器を接続すると、本機と映像機器の操作を連動できます。本機の[HDMIリンク]を設定してください。☛ [システム] - [HDMIリンク] p.42

映像機器側で必要な設定は、映像機器の取扱説明書をご覧ください。

## 本機とプロジェクターをミラキャストで接続する

本機とプロジェクターをミラキャストで接続して投写します。

接続するには、最初にHDMIモニターでオンスクリーンメニューを表示させ、ミラキャストの設定をしてください。



• 初めてミラキャストに接続するときは、接続完了までに時間がかかる場合があります。

• ミラキャスト接続では、録画と再生ができません。

**1** 本機のHDMI Out端子とHDMIモニターをHDMIケーブルで接続します。

**2** 書画カメラの電源を入れます。

☛ 「電源を入れる」 p.27



本機とプロジェクターがUSBケーブルで接続されていないことを確認してください。接続されていると、ミラキャストの設定ができません。

**3** HDMIモニターの電源を入れます。

**4** 書画カメラの【】ボタンを押します。

HDMIモニターにオンスクリーンメニューが表示されます。

☛ 「オンスクリーンメニューを使用する」 p.40

**5** [ミラキャスト]で[接続]を選択すると、接続先のリストが表示されます。

**6** 接続したいプロジェクターをリストから選択して、【決定】ボタンを押します。

選択したプロジェクターとの接続が完了し、プロジェクターから書画カメラの画像が投写されます。

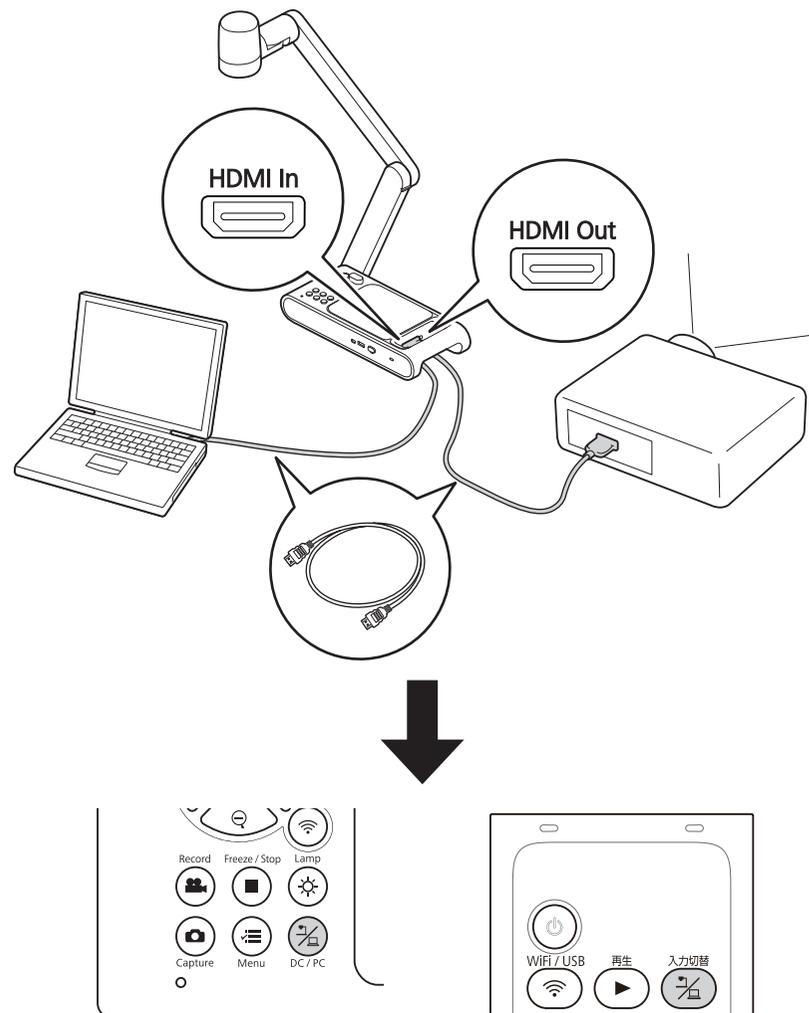


接続するエプソン製のプロジェクター名を調べたいときは、プロジェクターの操作で、ソース選択画面から[Screen Mirroring]を選択します。

詳しくはお使いのプロジェクターの『操作ガイド』を参照してください。

## コンピューターを使用するとき

コンピューターを本機のHDMI In端子に接続し、プロジェクターを本機のHDMI Out端子に接続すると、PowerPointファイルやその他アプリケーションの映像をプロジェクターから投写できます。





書画カメラに接続しているコンピューターの映像は、HDMI Out端子からのみ出力されます。

プロジェクターから投写する映像は、書画カメラまたはリモコンの【】ボタンでコンピューターの映像と書画カメラの映像(ライブ映像、USBメモリー)を切り替えます。

## Easy Interactive Toolsを使用する

Easy Interactive Toolsのカメラ画面を使用すると、USBケーブルで接続したコンピュータに書画カメラの映像を表示します。コンピュータから映像のサイズや明るさなどの調整を行い、画像ファイルまたは動画ファイルとして保存できます。更にコンピュータとプロジェクターを接続すると書画カメラの映像をプロジェクターで投写することができます。

Easy Interactive Toolsは以下のWebサイトからダウンロードしてください。

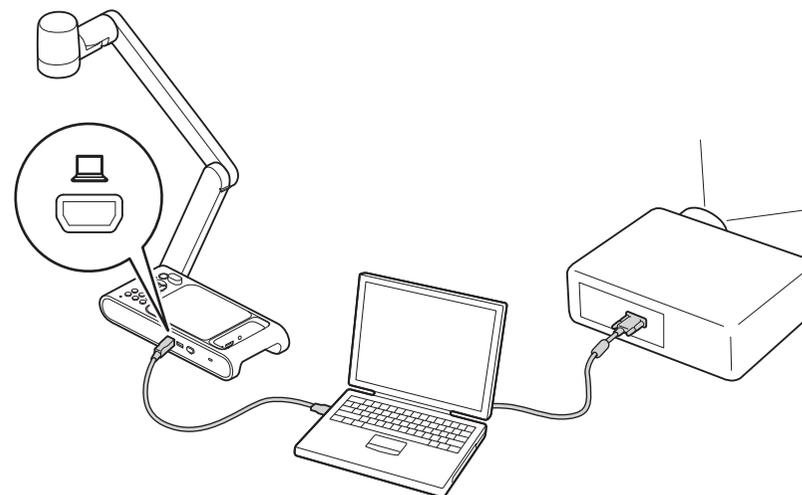
<https://support.epson.net/setupnavi/>

**1** 本機のUSB Mini-B端子とコンピュータをUSBケーブルで接続します。

**2** コンピューターとプロジェクターを接続します。

接続に使用するケーブルは、お使いのコンピュータやプロジェクターによって異なります。お使いのコンピュータやプロジェクターの取扱説明書をご覧ください。

Easy Interactive Toolsの詳細については、『Easy Interactive Tools操作ガイド』をご覧ください。



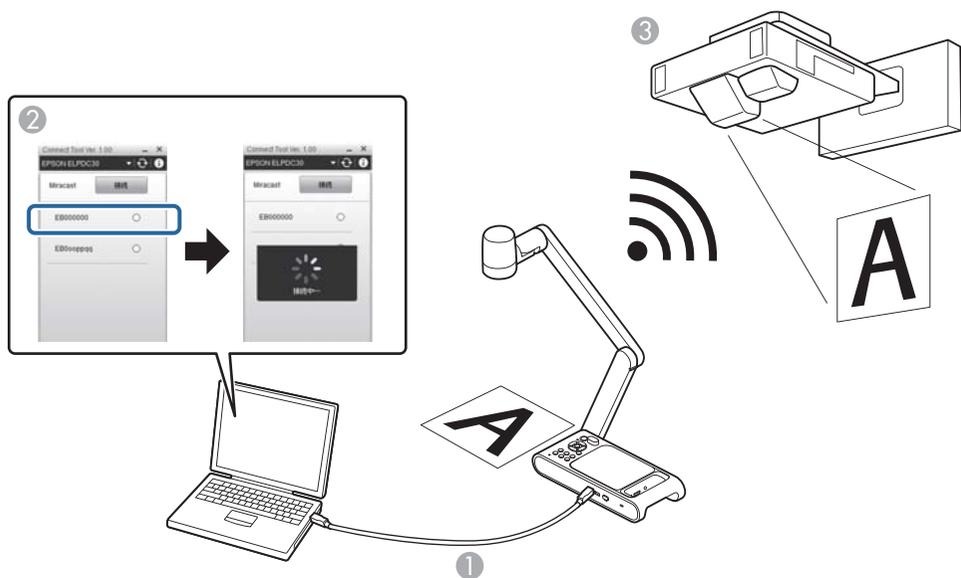
- 本機とプロジェクターをUSBケーブルで直接接続して映像を投写することはできません。
- USB2.0ポートに接続してください。USB3.0ポートに接続すると、正常に動作しないことがあります。
- 1台のコンピュータに2台以上の書画カメラを同時に接続しないでください。
- 電子ペンや指を使った操作に対応しているプロジェクターで投写しているときのみ、投写画面上でEasy Interactive Toolsを操作できます。

## Epson Connect Tool for Document Cameraを使用する

Epson Connect Tool for Document Cameraを使用するとコンピューターを使って、プロジェクターと書画カメラをミラキャストで接続できます。

Epson Connect Tool for Document Cameraは以下のWebサイトからダウンロードしてください。

<https://support.epson.net/setupnavi/>



- 1** 本機のUSB Mini-B端子とコンピューターをUSBケーブルで接続します。
- 2** コンピューターでEpson Connect Tool for Document Cameraを起動します。

- 3** 表示された画面からミラキャスト接続したいプロジェクターを選択します。

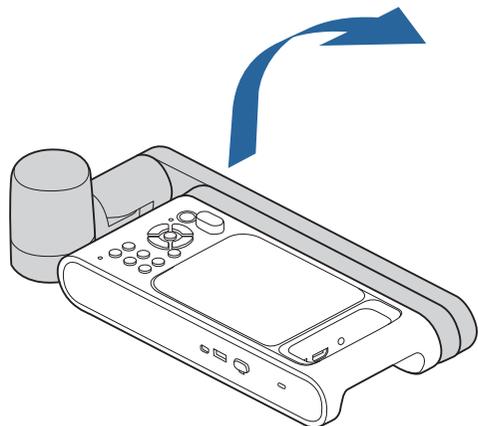
接続が完了すると、本機で撮影している画像がプロジェクターから投写されます。



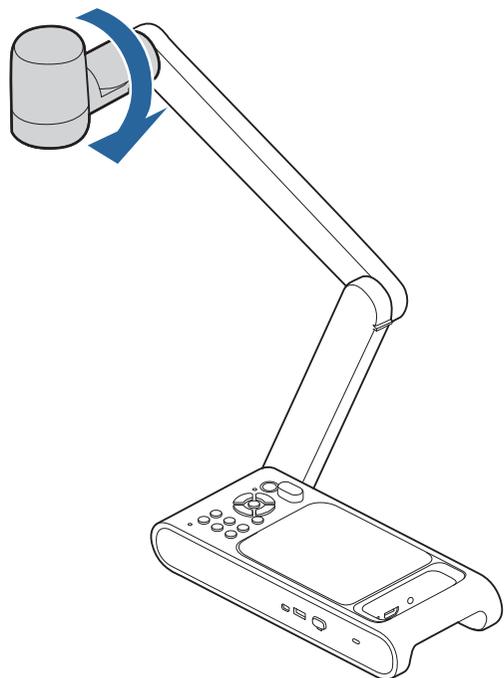
ミラキャストで接続中はコンピューターと本機のUSB接続は切断されます。

投写する

- 1 片手で本体を押さえながらカメラの支柱を伸ばします。



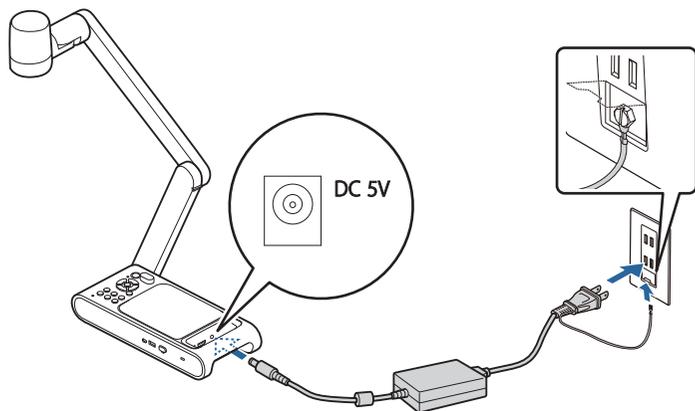
- 2 カメラヘッドを被写体の上にセットします。



本機の電源を入れる前に、本機とプロジェクターをケーブルで接続してください。☞「接続する」 p.19

- 1** 電源コードを電源端子に接続し、電源プラグをコンセントに差し込みます。

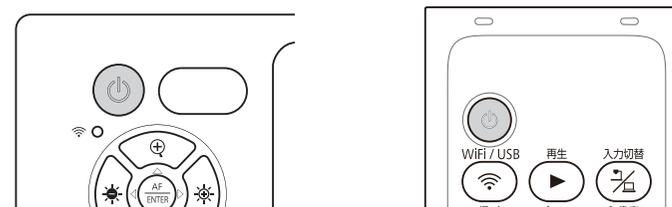
 付属のACアダプターを使用してください。



## 警告

必ず接地接続を行ってください。接地接続は必ず、電源プラグを電源につなぐ前に行ってください。また、接地接続を外す場合は、必ず電源プラグを電源から切り離してから行ってください。

- 2** 書画カメラまたはリモコンの【】電源ボタンを押します。



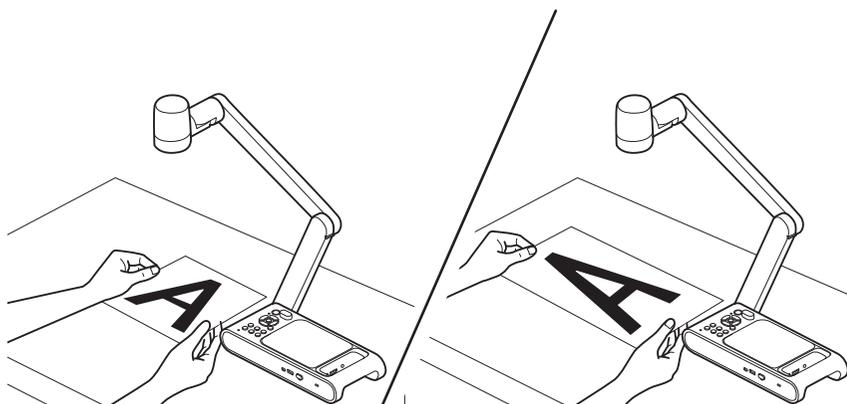
電源インジケータがオレンジ色に点滅します。起動が完了すると、電源インジケータが青色に点灯します。起動完了まで、約20秒かかります。

- 3** プロジェクターの電源を入れます。
- 4** プロジェクターの入力ソースを、本機に接続している端子に切り替えます。  
プロジェクターから書画カメラのライブ映像が投写されます。

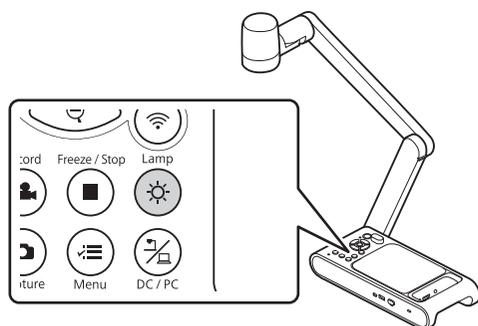
## 1 投写する被写体をカメラヘッドの真下に置きます。



- 投写できる最大用紙サイズはA3横です。
- A3を投写するときは、[映像設定]メニューの[映像モード]を[ワイド]に設定してください。

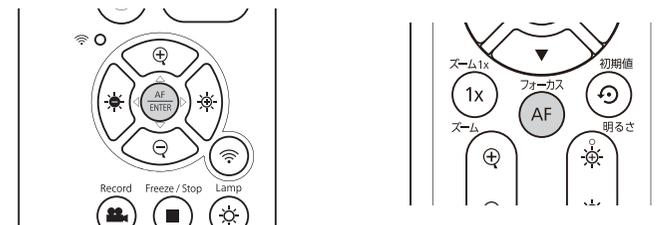


## 2 ボタンを押して被写体を照らします。



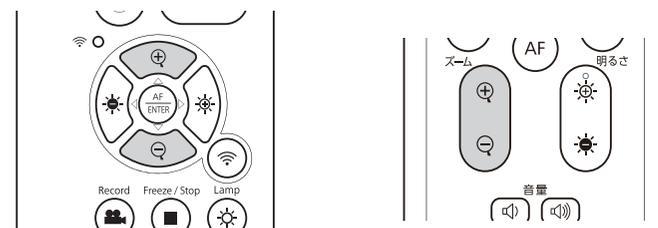
書画カメラまたはリモコンの/ボタンで映像の明るさを調整できます。

## 3 書画カメラまたはリモコンの【AF】ボタンを押します。



自動でピントを調整します。

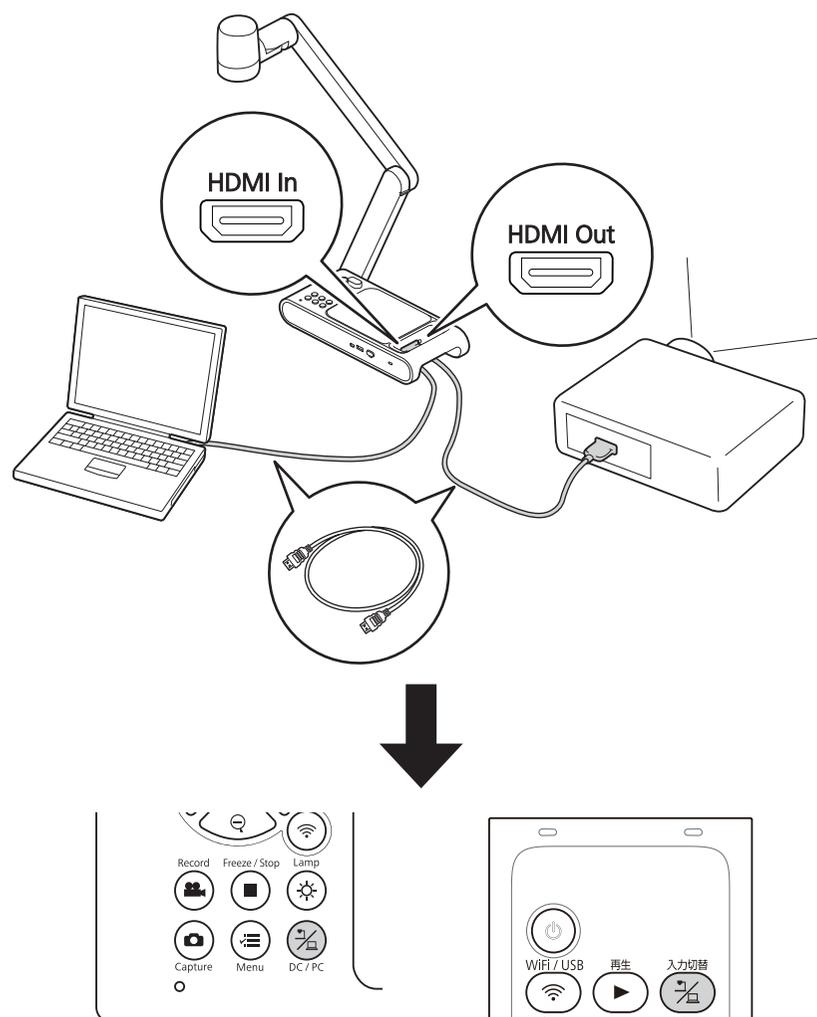
## 4 映像を拡大するには、書画カメラまたはリモコンの【+】ボタンを押します。縮小するには、【-】ボタンを押します。



- 光学ズームで最大10倍、電子ズームで最大23倍まで拡大できます。(光学ズームの倍率が最大に達すると、電子ズームに移行します。)
- 電子ズームでは画質が劣化することがあります。

## 投写映像を切り替える

コンピューターを書画カメラに接続しているとき、プロジェクターから投写する映像は書画カメラまたはリモコンの【】ボタンで切り替えます。



## 映像を静止する

映像を静止するには、書画カメラまたはリモコンの【】ボタンを押します。

映像を静止後に被写体を交換して再度【】ボタンを押すと、被写体を交換する様子を見せずに投写を続行できます。

## 小さい被写体を投写する

小さい被写体を投写するには、書画カメラの支柱を縮めます。被写体から約5cmまでカメラヘッドの位置を調整できます。

映像を拡大するには、書画カメラまたはリモコンの【】ボタンを押します。縮小するには、【】ボタンを押します。

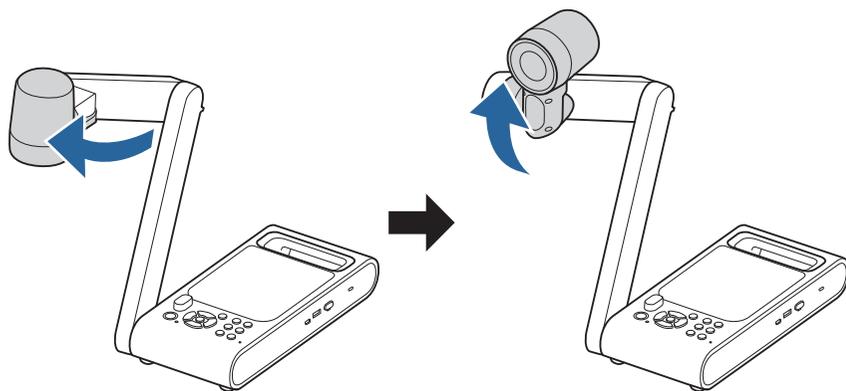
## ホワイトボードなどを投写する

書画カメラを使用して講義やプレゼンテーションを投写したり、ホワイトボードや黒板の映像を投写できます。

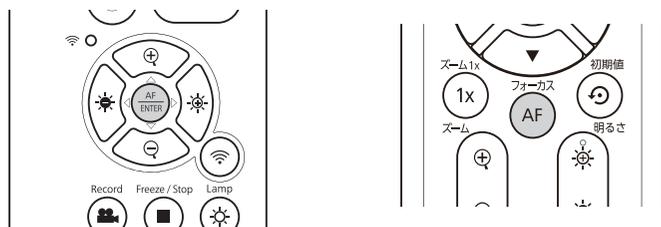


映像の上下を反転するには、【】ボタンを押し、[映像設定]メニューの[画像回転]を[180°]に設定してください。

### 1 カメラヘッドを回転して被写体の方向にセットします。



### 2 書画カメラまたはリモコンの【AF】ボタンを押します。



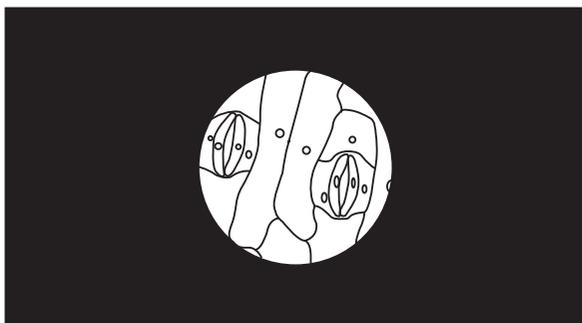
自動的にピントが合います。



投写中の映像と音声を録画できます。録画された映像はUSBメモリーに保存されます。

👉 「動画を保存する」 p.36

## 顕微鏡を通して投写する



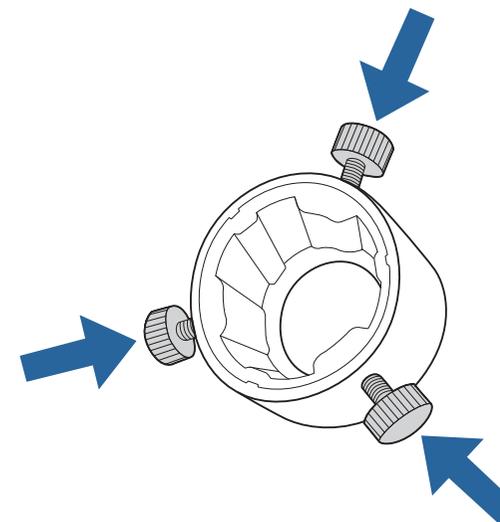
投写時のイメージ

顕微鏡を通して被写体を投写するには、同梱の顕微鏡アダプターを使用して、顕微鏡レンズの上にカメラヘッドを配置してください。

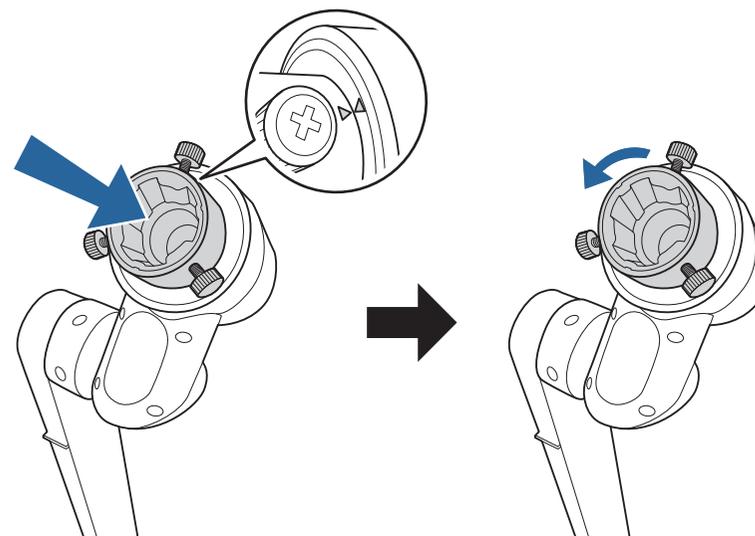


- 書画カメラを装着する前に、以下を設定してください。
  - ・ 顕微鏡のピント、ズーム調整
  - ・ 【】ボタンを押して、[映像設定]メニューの[映像モード]を[顕微鏡]に設定
- お使いの顕微鏡の光学特性により、映像が正しく表示されない場合があります。

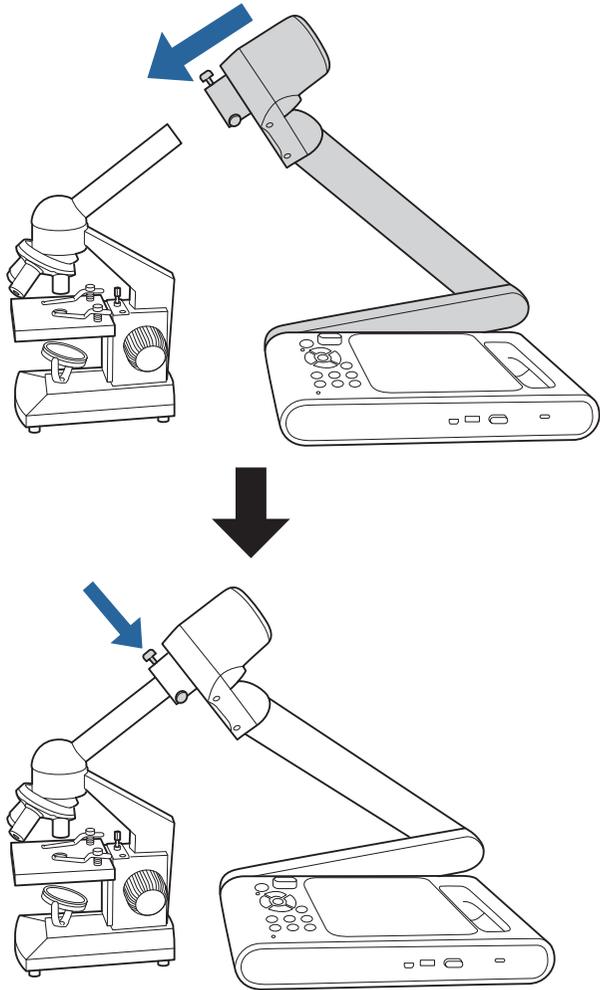
**1** 顕微鏡アダプターにネジを緩くつけておきます。



**2** 顕微鏡アダプターを、書画カメラのカメラヘッドにセットし、回転して固定します。

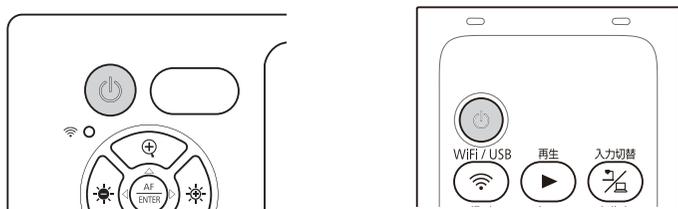


- 3** 顕微鏡アダプターを顕微鏡の接眼レンズに装着し、ネジを締めて固定します。



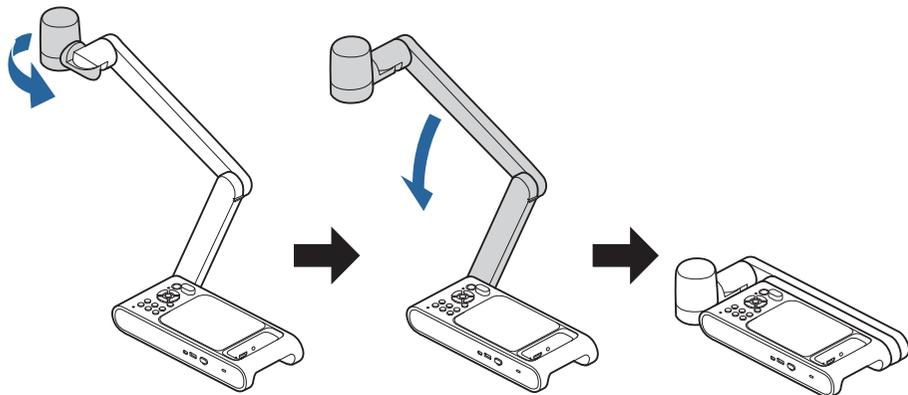
使用後は本機の電源を切ります。

- 1 書画カメラまたはリモコンの【】電源ボタンを押します。



投写映像が消え、電源インジケータがスタンバイ状態(オレンジ点灯)になります。

- 2 電源コードや接続ケーブルを抜いて、支柱を折りたたみます。



# 映像を保存する・スライドショーを表示する・映像を再生する

書画カメラのライブ映像をUSBメモリーに保存できます。保存した画像や動画はスライドショーで表示したり、再生したりできます。

ここでは、書画カメラまたはリモコンを使った操作方法を説明します。コンピューターのソフトウェアを使用して映像を保存することもできます。

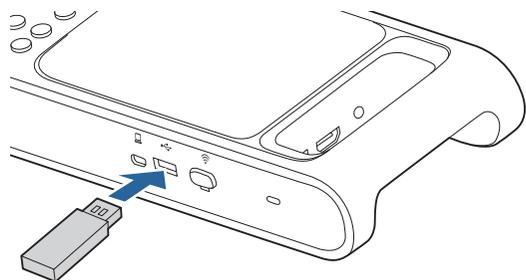
☛ 「Easy Interactive Toolsを使用する」 [p.23](#)

書画カメラの映像を静止画としてUSBメモリーに保存します。



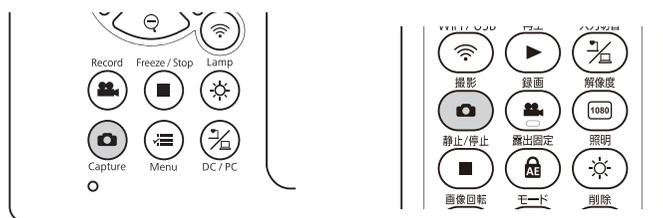
- 画像はJPEG形式で、書画カメラのオンスクリーンメニューの[解像度切り替え]で設定した解像度で保存されます。保存できる解像度は最大4Kです。
- USBメモリーの空き容量が少ないとき、「空き容量が不足しています。」というメッセージが表示され、画像は保存されません。

## 1 本機にUSBメモリー(市販品)を挿入します。



## 2 保存したい映像を投写します。

## 3 【】ボタンを押して、映像をキャプチャーします。



画面中央にが表示され、キャプチャーした画像がUSBメモリーに保存されます。

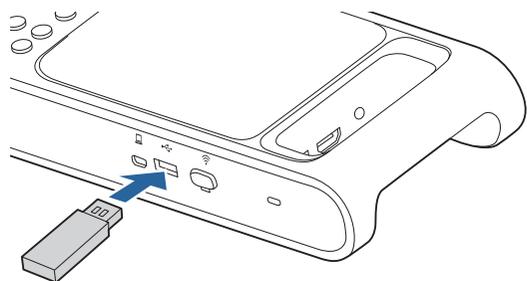
## 4 別の映像を保存するには、手順2と手順3を繰り返します。

書画カメラのライブ映像と音声を、動画としてUSBメモリーに保存します。



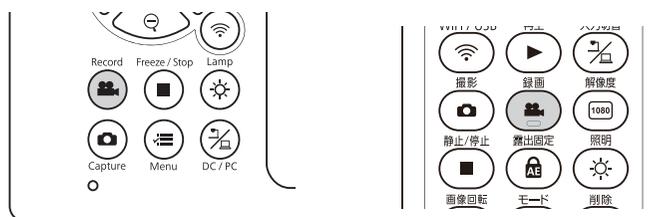
- 動画はmp4形式で、書画カメラのオンスクリーンメニューの[解像度切り替え]で設定した解像度で録画されます。
- 1ファイルに録画できるサイズは、最大2GBです。
- USBメモリーの空き容量が少ないとき、「空き容量が不足しています。」というメッセージが表示され、動画は保存されません。
- 録画中に電源が切れないように、[スリープモード]を[オフ]に設定してください。☞ [システム] - [スリープモード] p.42

## 1 本機にUSBメモリー(市販品)を挿入します。



## 2 保存したい映像を投写します。

## 3 【👤】ボタンを押して録画を開始します。



- 録画中は画面右上に録画経過時間が表示されます。保存された動画には表示されません。
- 録画中はUSBメモリーを抜かないでください。
- 録画中も以下のボタンの操作ができます。  
【ズーム】、【ズーム x 1】、【フォーカス】、【明るさ】、【画像回転】、【照明】  
操作音も録音されますのでご注意ください。
- 録画中は本機をUSBケーブルで他の機器に接続してもつながりません。

## 4 録画を終了するには、【👤】ボタンをもう一度押します。

USBメモリーに保存した映像をスライドショーで表示できます。

以下のときは本機能を使用できません

- 本機とコンピューターをUSBケーブルで接続しているとき
- ミラキャストで接続しているとき
- 動画の録画中

スライドショーで再生できるファイルの仕様

種類	ファイルタイプ	備考
画像	JPEG	解像度が3840x2160未満のファイル
動画	mp4	ファイルサイズが2GB未満のファイル



スライドショーで表示できる画像は本機で撮影した画像のみです。  
 ● 「USBに関するトラブル」 p.47

- 1 ライブ映像が投写されているときに、リモコンの【▶】ボタンを押します。



USBメモリー内の画像のサムネイルが表示されます。



- 2 【≡】ボタンを押して、[再生]メニューの[スライドショー]で[開始]を選択します。

スライドショーが始まります。



スライドショーをやめたいときは【▶】ボタンをもう一度押すと、サムネイルに戻ります。

- 3 【≡】ボタンを押すと、[スライドショー]、[切り替え間隔]、[全て削除]を選択できます。

- 4 スライドショーを終了するには、リモコンの【▶】ボタンを押します。



- 1 ライブ映像が投写されているときに、リモコンの【▶】ボタンを押します。



USBメモリー内の画像のサムネイルが表示されます。



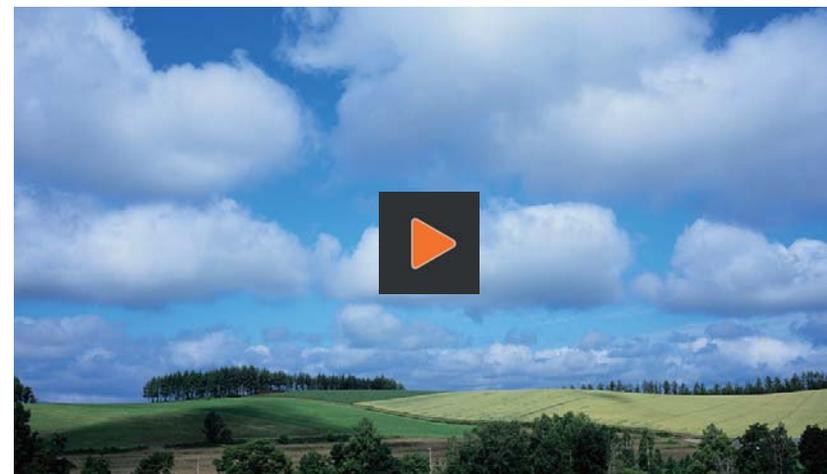
- 2 再生するファイルを選択して再生を開始します。

- 画像のとき

リモコンの【▲】【▼】【◀/◀◀】【▶/▶▶】ボタンで、再生するファイルを選択し、【決定】ボタンを押します。

- 動画のとき

【決定】ボタンを押して、再生したい動画のプレビューを全画面に表示してから、【決定】ボタンを押します。



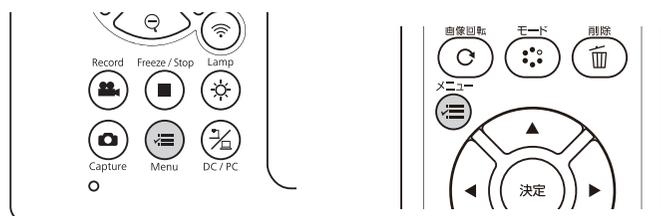
【決定】ボタンを押すと動画を一時停止/再開します。  
動画再生中に【■】ボタンを押すと動画を終了します。

# 映像の調整と効果

書画カメラでは、映像の静止、白黒表示、色の反転表示など、映像の調整と効果が設定できます。

操作パネルまたはリモコンの【】ボタンを押すと、オンスクリーンメニューが表示されます。オンスクリーンメニューの各項目については、以下を参照ください。

☛ 「オンスクリーンメニュー一覧」 p.41



以下のメニューが表示されます。



リモコンの【▲】【▼】【◀/◀◀】【▶/▶▶】ボタンでメニューを操作し、各設定を調整します。各設定を選択するには【決定】ボタンを押します。【】ボタンを押すと、設定内容を保存してメニューを閉じます。



本機とコンピューターをUSBケーブルで接続しているときは、メニューを表示できません。

## 映像設定

[映像設定]メニューではライブ映像の画質を調整をします。

設定項目	説明
[明るさ]	明るさレベルを0~255の数値に手動で調整します。 [+]を選択して【決定】ボタンを押し続けると画面が明るくなり、[-]を選択して【決定】ボタンを押し続けると画面が暗くなります。操作パネルの【☀️】【☀️】ボタンでも明るさを変更できます。
[コントラスト]	環境の明るさによってコントラストレベルを0~255の数値に手動で調整します。 [+]を選択して【決定】ボタンを押し続けるとコントラストが強くなり、[-]を選択して【決定】ボタンを押し続けるとコントラストが弱くなります。
[彩度]	彩度レベルを0~255の数値に手動で調整します。 [+]を選択して【決定】ボタンを押し続けると鮮やかな色味になり、[-]を選択して【決定】ボタンを押し続けると落ち着いた色味になります。
[映像モード]	下記項目から選択します。 [標準]※：標準の撮影モードです。 [モーション]：動きの速い映像のときに選択します。 [ワイド]：広画角の映像のときに選択します。A3を投写したいときに使用します。 [顕微鏡]：顕微鏡に接続しているときに選択します。 [マクロ]：近い被写体を撮影するときに選択します。 [無限遠]：遠い被写体を撮影するときに選択します。 映像モードはミラキャストで接続しているときは、調整できません。
[カラー/白黒/ネガ]	映像の色の表示方法を選択します。 [カラー]※：映像をカラーで表示します。 [白黒]：映像を白黒で表示します。 [ネガ]：写真のネガを実際の色で表示します。
[画像回転]	映像を回転します。 [通常]※：映像をそのまま表示します。 [180°]：映像の上下を反転して表示します。
[露出補正]	[オート]※：露出を自動的に調整します。 [マニュアル]：露出値の手動設定が有効になります。

設定項目	説明
[露出値]	[露出補正]で[マニュアル]を選択しているときに、露出値を0~99の数値に手動で調整します。 [+]を選択して【決定】ボタンを押し続けると値が大きくなり、[-]を選択して【決定】ボタンを押し続けると値が小さくなります。
[ホワイトバランス]	本機を使用する場所の明るさに応じた設定を選択します。 [オート]※：使用環境に合わせて、自動で映像の色を調整します。 [マニュアル]：手動で映像の色を調整します。選択すると、[曇天]、[晴天]、[蛍光灯]、[白熱灯]が選択できるようになります。 [曇天]：曇天下での使用に適しています。 [晴天]：晴天下での使用に適しています。 [蛍光灯]：蛍光灯を使用している部屋での使用に適しています。 [白熱灯]：白熱灯を使用している部屋での使用に適しています。
[マニュアルホワイトバランス]	ホワイトバランスを2800K~10000Kの数値に手動で調整します。 [+]を選択して【決定】ボタンを押し続けると値が大きくなり、[-]を選択して【決定】ボタンを押し続けると値が小さくなります。

※ お買い上げ時の設定です

## ミラキャスト

[ミラキャスト]メニューではミラキャストの接続設定をします。

設定項目	説明
[切断]	ミラキャストに接続しているときに選択すると、ミラキャスト接続を切断します。
[接続]	接続先が表示されます。リストの中から接続先を選択します。

## システム

[システム]メニューでは書画カメラの各種設定ができます。

設定項目	説明
[言語]	オンスクリーンメニューの言語を変更します。

設定項目	説明
[解像度切り替え]	HDMI端子にHDMIケーブルで接続したときの出力解像度を設定します。本機が対応できる最大解像度を上限に、以下の中から出力機器の最大解像度を選択できます。 [3840x2160 @ 60] [3840x2160 @ 30] [1920x1080] [1280x720] [1024x768] ミラキャスト接続のときは選択できません。
[USBストリーミング形式]	USB接続時のストリーミング形式にH.264 が選べるようになります。 [H.264 オン]:H.264を選択する。 [H.264 オフ]:H.264を選択しない。
[フリッカ補正]	異なる配電システムの地域で使用するとき、フリッカー(ちらつき)を軽減します。 [50Hz] [60Hz]
[HDMIリンク]	HDMI CEC規格に対応した接続機器と接続しているときに、本機の操作と連携動作させます。 [オン]※に設定すると、本機の電源を入れたときに接続機器の電源がオンになります。本機の設定の変更は、本機の電源をオフにした後から有効です。
[スリープモード]	一定時間操作がないときの動作を設定します。 [オン]：一定時間操作をしないと、自動的に電源がオフになります。 [オフ]：一定時間操作をしなくても、電源はオンのままです。
[スリープモード時間]	スリープモードで電源をオフにするまでの時間を1～ 6時間で設定します。
[マイク音量]	内蔵マイクの音量を手動で調整します。 [+]を選択して【決定】ボタンを押し続けると音量が大きくなり、[-]を選択して【決定】ボタンを押し続けると音量が小さくなります。
[情報表示]	本機の製品名、ファームウェアのバージョンやMACアドレスを表示します。
[初期化]	メニューの設定を工場出荷状態に戻します。

※ お買い上げ時の設定です

## 再生モード

書画カメラで保存した画像または動画を再生投写するときの設定をします。



この機能は市販のUSBメモリーが本機に接続されているときに利用できます。

この機能は以下の場合には利用できません。

- ミラキャストで接続している
- USBケーブルで接続している

設定項目	説明
[スライドショー]	スライドショーを開始または一時停止します。 リモコンの【▶】ボタンを押すと、スライドショーが終了します。
[切り替え間隔]	スライドショーの画像または映像の再生間隔を1～100秒の間で設定します。 [+]で切替間隔が長くなり、[-]で切替間隔が短くなります。
[全て削除]	USBメモリーに保存されている画像や映像を全て削除します。

困ったときは

## 操作に関するトラブル

### 映像が出ない

- 【】電源ボタンを押して映像が表示されるまでしばらくお待ちください。書画カメラの映像が投写されるまで約20秒かかります。
- プロジェクターの接続状態を確認します。
  - ☛ 「本機とプロジェクターを接続する」 p.20
  - ☛ 「ソフトウェアを使ってプロジェクターと接続する」 p.23
- 書画カメラのライブ映像を投写するには、書画カメラまたはリモコンの【】ボタンを押してください。
- プロジェクターの入力ソースを正しく選択してください。入力ソースは、ケーブルを接続しているプロジェクターの端子を選択します。
- プロジェクターの電源が入っていて、スリープモード中でないことを確認してください。また、プロジェクターの映像が「ミュート」またはオフになっていないことを確認してください。書画カメラがスリープモード中でないことを確認してください。
- 電源コードを接続し直してください。再度【】電源ボタンを押しても映像が出力されないときは、ご使用をやめ、お買い上げの販売店または連絡先リストに記載の連絡先に修理を依頼してください。☛ 「エプソンプロジェクター連絡先リスト」 p.48

## 映像に関するトラブル

### 映像がぼやける、ピントが合わない

- 周辺環境が暗かったり被写体のコントラストが低いときは、書画カメラのオートフォーカスではピントが合わないことがあります。[映像設定]で[明るさ]や[コントラスト]を調整してください。

- 被写体がカメラヘッドから5cm以上離れていることを確認してください。
  - ☛ 「モード別ズーム倍率と投写距離」 p.57
- プロジェクターを使用しているときは、プロジェクターのピントが合っていることを確認してください。
- ズーム倍率が高い場合、フォーカスが合う場所が、画角から外れていることがあるため、ズーム倍率を下げてください。

### 画像の明るさまたは色が正しくない

- 【】ボタンを押して、被写体を照らしてください。
- 映像の明るさを調整するには、【】ボタンまたは【】ボタンを押します。
- 画像の色合いを自動調整するには、[ホワイトバランス]を[オート]に設定します。それでも色が正しくないときは、使用環境に応じて[曇天]、[晴天]、[蛍光灯]、[白熱灯]のいずれかを選択してください。
  - ☛ 「映像設定」 p.41
- 書画カメラを顕微鏡に接続して使用した後は、通常の使用をする前に必ず[顕微鏡]以外の映像モードを選択してください。
  - ☛ 「映像設定」 p.41

### 立体物にピントが合わない

被写体が立体物の場合、以下を実施するとフォーカスを容易に合わせることができます。

- 立体物の背景をA3以上の均一な色にする
- 予め撮影する距離にフォーカスを合わせておく

### その他の映像のトラブル

- 映像が伸びたり、映像に黒いバーが表示される時は、[システム]メニューの[解像度切り替え]を変更してください。

☛ 「システム」 p.42



映像設定のすべての設定を初期値に戻すときは、[初期化]メニューを選択します。

☛ 「映像設定」 p.41

## USBに関するトラブル

### 特定の画像が表示されない

コンピューターからUSBメモリーに画像をコピーするときは、ファイル形式を確認してください。

- 画像のファイル形式は、JPEGファイルである必要があります。画像の編集はしないでください。ファイル形式が変更され、表示できなくなることがあります。
- 本機で撮影していない動画や静止画は再生できません。サムネイル画面で、画像が写らないファイルは書画カメラで撮影されたものではありません。

## ミラキャストに関するトラブル

### 接続に時間がかかる

- 接続までに時間がかかることがあります。しばらくしてから接続先の機器を再起動してください。
- 設定を確認してください。
  - ☛ 「本機とプロジェクターをミラキャストで接続する」 p.20

## リモコンに関するトラブル

### リモコンが反応しない

受光範囲から外れている可能性があります。受光範囲を確認してください。

☛ 「仕様」 p.54

日本国外に持ち出してご使用中に万一不具合のあったときは、下記の連絡先にお問い合わせください。

最新の連絡先は各連絡先のWeb Home Page を参照してください。それらの記載が無い場合はメインの[www.epson.com](http://www.epson.com) をご覧ください。

## EUROPE

### ALBANIA

ITD Sh.p.k.

<https://www.itd-al.com>

### AUSTRIA

Epson Deutschland GmbH

<http://www.epson.at>

### BELGIUM

Epson Europe B.V.  
Branch office Belgium

<https://www.epson.be>

### BOSNIA AND HERZEGOVINA

NET d.o.o. Computer Engineering

<https://netcomp.rs>

### BULGARIA

Epson Service Center, Bulgaria

<http://www.kolbis.com>

### CROATIA

MR servis d.o.o.

<http://www.mrservis.hr>

### CYPRUS

A.T. Multitech Corporation Ltd.

<http://www.multitech.com.cy>

### CZECH REPUBLIC

Epson Europe B.V.

Branch Office Czech Republic

<https://www.epson.cz>

### DENMARK

Epson Denmark

<https://www.epson.dk>

### ESTONIA

Epson Service Center, Estonia

<http://www.epson.ee>

### FINLAND

Epson Finland

<http://www.epson.fi>

### FRANCE and DOM-TOM TERRITORIES

Epson France S.A.

<https://www.epson.fr>

### GERMANY

Epson Deutschland GmbH

<https://www.epson.de>

### GREECE

Info Quest Technologies S.A.

<https://www.infoquest.gr>

## HUNGARY

**Epson Europe B.V.  
Branch Office Hungary**

<https://www.epson.hu>

## IRELAND

**Epson (UK) Ltd.**

<https://www.epson.ie>

## ISRAEL

**Epson Israel**

<https://www.epson.co.il>

## ITALY

**Epson Italia s.p.a.**

<https://www.epson.it>

## KAZAKHSTAN

**Epson Kazakhstan Rep. Office**

<http://www.epson.kz>

## LATVIA

**Epson Service Center, Latvia**

<http://www.epson.lv>

## LITHUANIA

**Epson Service Center Lithuania**

<http://www.epson.lt>

## LUXEMBURG

**Epson Europe B.V. Branch office Belgium**

<https://www.epson.be>

## NORTH MACEDONIA

**Digit Computer Engineering**

<http://www.digit.com.mk>

## NETHERLANDS

**Epson Europe B.V. Benelux sales office**

<https://www.epson.nl>

## NORWAY

**Epson Norway**

<https://www.epson.no>

## POLAND

**Epson EUROPE B.V. Branch Office Poland**

<https://www.epson.pl>

## PORTUGAL

**Epson Iberica S.A.U. Branch Office Portugal**

<https://www.epson.pt>

## ROMANIA

**Epson Europe B.V. Branch Office Romania**

<https://www.epson.ro>

## RUSSIA

**Epson CIS**

<https://epson.ru>

## UKRAINE

**Epson Kiev Rep Office**

<http://www.epson.ua>

**SERBIA**

**Nepo System d.o.o.**

<https://neposystem.rs>

**AIGO Business System d.o.o. Beograd**

<https://aigo.rs>

**SLOVAKIA**

**Epson EUROPE B.V. Branch Office Czech Republic**

<https://www.epson.sk>

**SLOVENIA**

**Birotehna d.o.o**

<http://www.birotehna.si>

**SPAIN**

**Epson Iberica, S.A.U.**

<https://www.epson.es>

**SWEDEN**

**Epson Sweden**

<https://www.epson.se>

**SWITZERLAND**

**Epson Deutschland GmbH Branch office Switzerland**

<https://www.epson.ch>

**TURKEY**

**Tecpro Bilgi Teknolojileri Tic. ve San. Ltd. Sti.**

<http://www.tecpro.com.tr>

**UK**

**Epson (UK) Ltd.**

<https://www.epson.co.uk>

**Indication of the manufacturer and the importer in accordance with requirements of United Kingdom directive**

Manufacturer: SEIKO EPSON CORPORATION

Address: 3-5, Owa 3-chome, Suwa-shi, Nagano-ken 392-8502 Japan

Telephone: 81-266-52-3131

<http://www.epson.com/>

Importer: Epson (UK) Ltd.

Address: Westside, London Road, Hemel Hempstead, Hertfordshire, HP3 9TD, United Kingdom

<http://www.epson.co.uk>

**Indication of the manufacturer and the importer in accordance with requirements of EU directive**

Manufacturer: SEIKO EPSON CORPORATION

Address: 3-5, Owa 3-chome, Suwa-shi, Nagano-ken 392-8502 Japan

Telephone: 81-266-52-3131

<http://www.epson.com/>

Importer: EPSON EUROPE B.V.

Address: Atlas Arena, Asia Building, Hoogoorddreef 5,1101 BA Amsterdam Zuidoost The Netherlands

Telephone: 31-20-314-5000

<http://www.epson.com/europe.html>

---

## AFRICA

<https://www.epson.co.za>

or

<https://www.epson.fr>

### SOUTH AFRICA

**Epson South Africa**

<https://www.epson.co.za>

---

## MIDDLE EAST

**Epson (Middle East)**

<https://www.epson.ae>

---

## ASIA AND OCEANIA (Country/Region)

### AUSTRALIA

**Epson Australia Pty. Ltd.**

<https://www.epson.com.au>

### CHINA

**Epson (CHINA) CO., Ltd.**

<https://www.epson.com.cn>

### HONG KONG

**Epson Hong Kong Ltd.**

<https://www.epson.com.hk>

### INDIA

**Epson India Pvt., Ltd.**

<https://www.epson.co.in>

### INDONESIA

**PT. Epson Indonesia**

<https://www.epson.co.id>

### JAPAN

**Seiko Epson Co.**

<https://www.epson.jp>

### KOREA

**Epson Korea Co., Ltd.**

<http://www.epson.co.kr>

### MALAYSIA

**Epson Malaysia Sdn. Bhd.**

<https://www.epson.com.my>

### NEW ZEALAND

**Epson New Zealand**

<https://www.epson.co.nz>

### PHILIPPINES

**Epson Philippines Co.**

<https://www.epson.com.ph>

### SINGAPORE

**Epson Singapore Pte. Ltd.**

<https://www.epson.com.sg>

### TAIWAN

**Epson Taiwan  
Technology & Trading Ltd.**

<https://www.epson.com.tw>

## **THAILAND**

**Epson (Thailand) Co., Ltd.**

<https://www.epson.co.th>

# 付録

## 本体仕様

商品名	ELPDC30	
外形サイズ	使用時(幅×高さ×奥行): 586×554×159 mm 収納時(幅×高さ×奥行): 362×85×159 mm	
カメラセンサー	1/3.2型CMOSセンサー	
撮影レンズ	F=2.8	
有効画素数	4K(3840×2160ピクセル)	
撮影可能エリア	最大345×480 mm @ 470 mm(ワイドモード時)	
フォーカス調整	自動 ズーム調整後もオートフォーカスが有効	
ズーム調整	光学ズーム10倍(無限遠時) 電子ズーム23倍	
フレームレート	最大60フレーム/秒	
内蔵マイク	1個(モノラル入力)	
リモコンの受光範囲	前、右、左が5 m 対角45°左右が6 m	
電源	ACアダプター	100-240 VAC ±10%、50/60 Hz、0.5 A
	本体(FSP015-DPAN3)	5 VDC、3 A、15.0 W
消費電力	動作時	LEDランプ点灯時: 9.6 W LEDランプ消灯時: 8.0 W
	待機時	0.5 W
動作温度範囲	+5 ~ +35°C(結露しないこと)	
保存温度範囲	-10 ~ +60°C(結露しないこと)	
動作湿度範囲	20 ~ 80% RH(結露しないこと)	
保存湿度範囲	10 ~ 90% RH(結露しないこと)	
質量	約2.8 kg	

入力端子	HDMI端子*1	1系統	—
出力端子	HDMI端子*1	1系統	—
接続端子	miniUSB*2	1系統	兼出力端子
	USB-A*2	2系統	1:Wifi Dongle 1:USBメモリ

\*1 HDMI CECに対応しています。ただし、対応機器すべての動作を保証するものではありません。

\*2 USB2.0に対応しています。ただし、USB対応機器すべての動作を保証するものではありません。

製品の製造者、モデル名、定格に関する表示は製品底面の定格ラベル上に表示されています。

## 対応解像度表

<b>HDMI output</b>	4K (3840 × 2160 @ 30/60 Hz*1)
	HDTV (1920 × 1080 @ 60 Hz、1280 × 720 @ 60 Hz)
	XGA (1024 × 764 @ 60 Hz)
<b>miniUSB output</b>	320 × 180 pix
	320 × 240 pix
	640 × 360 pix
	VGA (640 × 480)
	XGA (1024 × 768)
	720p (1280 × 720)
	WXGA (1280 × 800)
	QVGA (1280 × 960)
	SXGA (1280 × 1024)
	Full HD (1920 × 1080)
	UXGA (1600 × 1200)
	2048*1536 pix (2048 × 1536)
	2560*1920 pix (2560 × 1920)
4K (3840 × 2160)	
<b>Miracast output</b>	Full HD (1920 × 1080)

\*1 3840 × 2160 @ 60 Hzの場合はYUV420 8bitのみ

## モード別ズーム倍率と投写距離

映像モード	撮影距離範囲	最大光学ズーム倍率*1	最大デジタルズーム倍率*1	アスペクト比/フレームレート
[標準]	10~80 cm	3.2x	23.9x	16:9@30fps
[モーション]				16:9@60fps
[ワイド]				4:3@30fps
[顕微鏡]	—	1x		16:9@30fps
[マクロ]	5~10 cm	2.8x		
[無限遠]	80~∞ cm	9.7x		

\*1 ズーム倍率は理論値

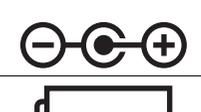
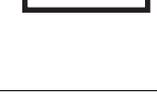
下記のオプション・消耗品を用意しています。用途に合わせてお買い求めください。

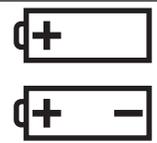
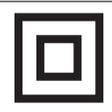
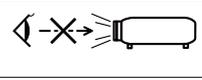
これらのオプション品は2023年4月現在のものです。

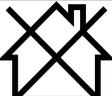
予告なく変更することがありますので、ご了承ください。

<b>ソフトキャリングケース</b> ELPKS72	本機を持ち運ぶときに使用します。
-------------------------------	------------------

製品上にシンボルマークが表示されている場合は、それぞれ以下の意味を持っています。

No.	シンボルマーク	対応規格	説明
①		IEC60417 No.5007	電源 ON 電源への接続を示す。
②		IEC60417 No.5008	電源 OFF 電源からの切り離しを示す。
③		IEC60417 No.5009	スタンバイ 機器・装置の一部だけを通電状態にし、機器・装置を待機状態にするためのスイッチまたはその位置を示す。
④		ISO7000 No.0434B IEC3864-B3.1	注意 製品取扱時の全般的な注意を示す。
⑤		IEC60417 No.5041	注意(高温) 高温の可能性があり、不注意に触れない方がよい箇所であることを示す。
⑥		IEC60417 No.6042 ISO3864-B3.6	注意(感電危険) 感電(電撃)の危険性がある機器・装置であることを示す。
⑦		IEC60417 No.5957	屋内専用 屋内使用専用を目的とする電気機器・装置であることを表す。
⑧		IEC60417 No.5926	直流電源コネクタ極性 直流電源を接続してもよい機器のプラス及びマイナス電極の接続を示す。
⑨		IEC60417 No.5001B	電池(一般) 電池を電源とする機器・装置に使用する。電池装着部分のカバーまたは接続端子を示す。

No.	シンボルマーク	対応規格	説明
⑩		IEC60417 No.5002	電池の向き 電池ケース本体および電池ケース内での向きを示す。
⑪		IEC60417 No.5019	保護接地 障害発生時の電撃(感電)保護用外部導体への接続端子または保護接地極の端子であることを示す。
⑫		IEC60417 No.5017	アース No.11の使用が明示的に要請されない場合の接地(アース)端子であることを示す。
⑬		IEC60417 No.5032	交流 交流専用の機器・装置であり、交流に対応する端子であることを示す。
⑭		IEC60417 No.5031	直流 直流専用の機器・装置であり、直流に対応する端子であることを示す。
⑮		IEC60417 No.5172	クラスⅡ機器 JIS C 9335-1/JIS C 8105-1でクラスⅡ機器と規定した安全性要求事項に適合する機器・装置であることを示す。
⑯		ISO 3864	一般的な禁止 特定しない一般的な禁止通告を示す。
⑰		ISO 3864	接触禁止 機器の特定の場所に触れることによって傷害が起こる可能性がある場合の禁止通告を示す。
⑱		---	プロジェクター動作中の投写レンズ覗きこみ禁止を示す。
⑲		---	プロジェクターの上に物を置いてはならないことを示す。

No.	シンボルマーク	対応規格	説明
20		ISO3864 IEC60825-1	注意(レーザー放射) 製品上に注意が必要なレベルのレーザー放射部があることを示す。
21		ISO 3864	分解禁止 機器を分解することで感電などの傷害が起こる可能性がある場合の禁止通告を示す。
22		IEC60417 No.5266	待機、一部待機 機器・装置の一部が準備状態であることを示す。
23		ISO3864 IEC60417 No.5057	注意(可動部品) 保護規定上、可動部品から離れなければならないことを示す。
24		IEC60417 No.6056	注意(可動ファンのブレード) 保護規定上、可動部品から離れなければならないことを示す。
25		IEC60417 No.6043	注意(鋭利な角) 保護規定上、鋭利な角には触れてはいけないことを指示する。
26		---	プロジェクター動作中の投写レンズ 覗きこみ禁止。
27		ISO7010 No.W027 ISO 3864	警告、光放射(UV、可視光、IRなど) 光放射の近くにいるときは、目や肌に負傷を与えないように注意してください。
28		IEC60417 No.5109	居住区域使用禁止 居住区域での使用に適さない電気機器・装置であることを示す。
29		---	照明用LED点灯中のレンズ覗きこみ 禁止を示す。

### ご注意

- (1) 本書の内容の一部、または全部を無断で転載することは固くお断りいたします。
- (2) 本書の内容については、将来予告なしに変更することがあります。
- (3) 本書の内容については万全を期して作成いたしました。万が一不審な点や誤り、お気づきの点がございましたら、ご連絡くださいますようお願いいたします。
- (4) 運用した結果の影響につきましては、(3)項にかかわらず責任を負いかねますのでご了承ください。
- (5) 本製品がお客様により不適當に使用されたり、本書の内容に従わずに取り扱われたり、またはエプソンおよびエプソン指定の者(「お問い合わせ先」参照)以外の第三者により、修理、変更されたこと等に起因して生じた損害等につきましては、責任を負いかねますのでご了承ください。
- (6) エプソン純正品、およびエプソン品質認定品以外のオプション品または消耗品、交換部品を装着してトラブルが発生した場合には、責任を負いかねますのでご了承ください。
- (7) 本書中のイラストや画面図は実際と異なる場合があります。

### 使用限定について

本製品を航空機・列車・船舶・自動車などの運行に直接関わる装置・防災防犯装置・各種安全装置など機能・精度などにおいて高い信頼性・安全性が必要とされる用途に使用される場合は、これらのシステム全体の信頼性および安全維持のためにフェールセーフ設計や冗長設計の措置を講じるなど、システム全体の安全設計にご配慮いただいた上で当社製品をご使用いただくようお願いいたします。本製品は、航空宇宙機器、幹線通信機器、原子力制御機器、医療機器など、極めて高い信頼性・安全性が必要とされる用途への使用を意図しておりませんので、これらの用途には本製品の適合性をお客様において十分ご確認のうえ、ご判断ください。

### 本機を日本国外へ持ち出す場合の注意

電源ケーブルは販売国の電源仕様にに基づき同梱されています。本機を販売国以外でお使いになるときは、事前に使用する国の電源電圧や、コンセントの形状を確認し、その国の規格に適合した電源ケーブルを現地にしてお求めください。

### 瞬低(瞬時電圧低下)基準について

本装置は、落雷などによる電源の瞬時電圧低下に対し不都合が生じることがあります。電源の瞬時電圧低下対策としては、交流無停電電源装置などを使用されることをお勧めします。

### JIS C 61000-3-2適合品

本装置は、高調波電流規格「JIS C 61000-3-2」に適合しています。

## 商標について

HDMI、HDMIロゴ、およびHigh-Definition Multimedia InterfaceはHDMI Licensing Administrator, Incの商標、または登録商標です。



Wi-Fi<sup>®</sup>、Miracast<sup>®</sup>はWi-Fi Alliance<sup>®</sup>の登録商標です。

本契約書で使用される他の製品名は、識別のみを目的としたものであり、それらのそれぞれの所有者の商標である場合があります。エプソンは、それらの商標におけるあらゆる権利を放棄します。

この情報は、予告なしに変更する場合があります。

© SEIKO EPSON CORPORATION 2023. All rights reserved.

2024.10 414411401 JA